

# 100号記念号 特集

# 石川保険医新聞

発行所  
石川県保険医協会  
金沢市尾張町1丁目9番11号  
尾張町レジデンス2F  
電話 (0762) 22-5373番  
発行人 後藤田博之  
印刷所 ユーアイ印刷  
(会費 月額 3,800円)

## 第9回定期総会を開催

## 守りから行動へ

## 執行体制の強化はかる

保険医協会の第八回定期総会が五月二十一日、ホリデイ・イン金沢で開かれた。今年の総会では、臨調路線にもとづく医療費抑制策に対抗し、住民・患者の信頼を深めるため地域医療対策部の創設をはじめ執行体制を強化し、役員任期を二年に延長するなど会則改正を決定した。

## 地域医療対策部を創設

最初に、後藤田会長が挨拶し、「本年も医療と経営の困難が一層深まり、開業医としての将来に強い不安が感じられる。国民に信頼される医療をめざし、協会は医師と患者の望ましい関係を確立し、不安のない医療と医療経営が出来る。国民に信頼される医療をめざし、協会は医師と患者の望ましい関係を確立し、不安のない医療と医療経営が出来る。」と述べた。

## 役員任期二年に延長

執行体制の強化のため、役員任期はこれまで一年であったが、二年に延長するといふ会則改正が藤田理事より提案され、次いで、新年度役員

た。五十七年度活動報告及び五十八年度活動方針案を提案した高松理事は「保団連が提唱しているボランティアから定着へ実践に移すため地域医療対策部を創設し、住民・諸団体との交流を密にする。開業保険医の経営と権利を守り、国民の医療を守る担い手として努力してきた保険医協会にとって五十八年度は文字通り試練の年になる。情勢の変化に速に対応できるよう執行体制の強化をはかる」

など強調し、承認された。五十七年度決算並びに五十八年度予算案は八木理事が提案し、「収入の伸び悩みは構成比五十五%を占める会費収入の中で、会員増が目標を下廻ったためであり、これからは確実な会員増加対策が望まれる。また、財務管理の厳正化のため、五十七年度より半期毎の会計監査を行い、款項目も公益法人会計基準にもとづき一部修正した」と述べ、承認された。

## 第9回総会を迎えて

会長 後藤田博之

第九回定期総会を迎えるに当り、最近の医療情勢を含めて一言ご挨拶申し上げます。

政府・厚生省の考えている医療政策は、老健法、医療法改正、医療費総額抑制に象徴される最近の動きと、特に昨年から今年にかけての吉村保険局長など厚生官僚による一連の発言からも明らかになってきています。

例えば、佐分利病院管理研究所長は、病院病床について、現在ある病院の一六五万床のうち、実に六五万床を福祉施設やナースینگホームに転用すると述べており、大谷医務局長は、病床数はトータルを規制するが、規制の中で病院医療に

り返し、「老人医療費にケリがつかないなら、今度は一般診療報酬に手を付ける」とまで言っています。

また厚生省は年々増加しつつある薬剤費を抑制する

ため現在、保険適用されているビタミン剤や総合感冒剤、漢方薬、ハリ薬など、薬価基準から除外する発表をし、これが実現すれば、更に健胃消化剤や目薬など

化政策を柱として新たな国民医療再編成にとりかかっている。」そして、こういったいろいろな施策を法で仕上げるのが医療法改正であるとし、「このよ

模なスクラップアンドビルドが進むのは必至である。」とはっきり指摘しているとおりの状況になってきています。

このように、開業保険医をとりまく情勢は益々きびしくなるものと考えられますが、国民に信頼される医療をめざし、医師と患者の望ましい関係を確立して、不安のない医療と医療経営が出来るよう努力すべきだと考えます。

石川協会は、役員一同会員のため一致団結して会員の意見を尊重し、その意に沿うよう活動することを皆様にお約束致します。

最後に、勝木理事から、①包括的な保健・医療制度の確立、②老人保健法の是正、③適正な診療報酬の実現、④総合感官剤など薬価基準からの削除に反対、⑤医療税制の改善、⑥組織の拡大・強化、の六項目の総会アピールが提案され、満場一致で採択した。



超満員の記念講演会場

(関連記事 二面)

## 医心凡語

近年、多種薬剤の時代で以前にも増して薬疹の増加が目立っている。大学勤務の頃は、何のためらいもなく薬疹という病名をつけ、原因薬物を検索する目的で平気で内服テストなど施行し、原因薬物が判明したのはいいが、再燃が強く患者に七転八倒の苦しみを味わせた経験が何例もあった。その当時は原因薬物がはつきりもて良かったと患者の方から感謝される程であったが、今開業医になって考えると、なんと大胆なことをしたかと冷や汗の出る思いである。

最近、全身紅斑のある患者が来院した。本人は某内科医から出してもらった風邪薬が原因でないかといふ、五種類の錠剤を持参してきた。私はその中の一種の抗生物質によるものに間違いのないと思ったが、内服試験は勿論、貼布試験も行わなかった。というのは私の同業の医師が最近、某内科医の投与された一種が原因薬と判明した薬疹の患者にその旨を伝えたところ、その足で、その内科医のところへ行き、数十万円の損害賠償金を受け取り、その医師からは抗議され、ひどい目にあつたという話を聞いていたからである。私はその話を聞いて以来、薬疹という病名は避けなるべく広義の中毒疹の診断をつけることにしている。医師にとって厳しい現今、せめてトラブルにまき込まれないための知恵の一つと自負している次第である。

○ ○ ○



講師の宮本憲一先生

### 記念講演

# まちづくりと地域医療

(要旨)

大阪市立大学教授

宮本憲一先生

総会に先立ち、宮本憲一大阪市立大学教授が「まちづくりと地域医療」と題し約一時間半にわたり記念講演を行った。参加者は七十五名。

宮本先生は、今なぜ医療を

まちづくりに際してはこれまで国や企業の介入が多すぎた。即ち産業利潤のため自然やコミュニティの破壊が行われ、仕事と生活の場が失われて来た。コミュニティは共同体の最小単位で、お互いの話し合いの積み重ねが、まちづくりのリーダーシップをとらねばならない。

まちづくりと関連づけて考える必要があるかと問題提起し、その背景を急激な都市化現象の中で地域社会が変容し、コミュニティが崩壊している。今こそコミュニティを再構築する必要がある。

### 記念講演を聴いて

## 住民参加の包括医療

珠洲郡 上田 正明

あり、社会参加だと主張して来た。医療はあくまで地域住民のために存在するもので、医療供給側の独善であってはならない。そのためにはコミュニティの住民参加が必要である。

また、住民参加の地域医療の環境として一昨年からわれわれは行政(市町村、関係部課、保健婦、保健所)、住民(青年団、婦人会、老人会、農漁業協同組合等)、医師会(会

は住民に十分な情報を提供し、その選択を求めねばならない。しかし情報過剰時代に数多くの情報から公正な情報を提供することは医療に關しては医療供給者のつとめである。

。講師の、日本の都市に対する愛情を強く感ずる。ヴィジョンと現実の差は大きい。さらに医療・福祉の後退(行革)が懸念される。地域医療とコミュニティとの関連は抽象的には理解できるが、具体的な事例(国の内外)をあげていただいたかった。若月先生や沢内村は特異に思われる(農村V都会)。

まちづくりと関連づけて考える必要があるかと問題提起し、その背景を急激な都市化現象の中で地域社会が変容し、コミュニティが崩壊している。今こそコミュニティを再構築する必要がある。

。美しい町に住むことの誇りを感じた。町づくりは誰のためか原点にもどり地域の人達と強く感じた。

## 美しい町に住む誇り

### 参加者の感想より

。美しい町に住むことの誇りを感じた。町づくりは誰のためか原点にもどり地域の人達と強く感じた。

。個人的には宮本氏の環境論などを、これまでも良く見ておりました。改めて金沢でどうなのかということも考えさせられました。金沢での医療問題としての環境論といったことで具体的な方法がないものでしょうか。

### 総会で選出された協会役員

会長	後藤田博之	(産婦)
副会長	平松昌司	(内)
理事	新井宏夫	(内)
	大石博司	(産婦)
	大野幸治	(内)
	大木育夫	(内)
	勝地皓一	(歯)
	高島明朔	(外)
	高松弘志	(内)
	筑田正明	(外)
	長基雄	(児)
	西村邦茂	(内)
	林田士郎	(産婦)
	藤村明子	(内)
	宮村泰夫	(内)
	八木泰夫	(内)
	横井衛	(内、児)
	新横井衛	(内)
監事	松本吉典	(内)
	森田孝文	(整外)
顧問	登谷栄作	(内)

### 御来賓名

- 富山県保険医協会理事 菅田俊雄
- 同 洲崎 勇
- 衆議院議員 坂本三十次
- 衆議院議員 森 喜朗
- (代理)
- 参議院議員 嶋崎 均
- 石川県議会議員 米沢利久
- 同 土用下敏子

### 祝電・メッセージ

- 全国保険医団体連合会会長 桐島正義
- 石川松任都市医師会長 登谷栄作
- 輪島鳳至医師会長 新田晴雄
- 国務大臣 安田隆明
- 衆議院議員 奥田敬和
- 衆議院議員 嶋崎 謙
- 衆議院議員 森 喜朗
- 衆議院議員 森 喜朗
- 衆議院議員 嶋崎 均
- 参議院議員 嶋崎 均
- 金沢市長 江川 昇
- 小松市長 竹田又男
- 石川県議会議員 大幸 甚
- 石川県厚生部長 谷本昭久
- 北国新聞社取締役事業局長 岡田直強
- 石川県医療労働組合協議会(保険医協会関係) 秋田、岩手、山形、福島、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨、長野、新潟、静岡、愛知、三重、滋賀、大阪、兵庫、鳥取、広島、高知、山口、福岡、長崎、宮崎、熊本、京都府、福岡、岡崎。

研究会報告

尿路性器の悪性腫瘍

早期発見のために

金沢大学泌尿器科講師 三崎俊光 先生



したが、僅かでも先生方の診療の一助となれば幸いです。

泌尿器系疾患の多くは血尿を伴うことが多く、特に悪性疾患ではその頻度はさらに高まり鑑別診断が重要となります。

近年、泌尿器科領域においても悪性腫瘍発生頻度の増加傾向が認められ、とくにわが国における社会の高齢化と欧米生活様式の普及に伴い、二十世紀初めには前立腺癌が男子における悪性腫瘍の上位を占めることが予想され、早期診断法確立の機運が高まっております。

近年、各種悪性腫瘍における腫瘍マーカーの報告が増加しており、泌尿器科領域においても、前立腺性酸フォスファターゼ、PAP（前立腺癌AFP）、HCGおよびα-fetoprotein（卵巣腫瘍）が診断、治療効果判定、再発発見に利用され、mass screening

協会の行事案内

診療なんでも懇談会

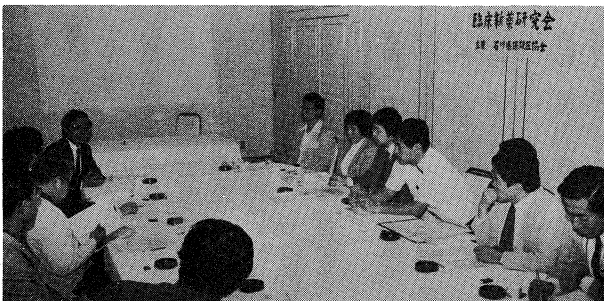
- △テーマ 小児の外科的疾患について
△講師 石川県立中央病院小児外科部長 浅野周二先生
△日時 6月24日(金) 午後7時半～9時半
△会場 石川県医師会館3階相談室

医療機械実技講習会

—超音波断層実技シリーズ—

- △テーマ 産婦人科の超音波の実際
△講師 医療法人英人会夏山病院院長 夏山英一先生
△日時 7月17日(日) 午後2時～5時
△会場 金沢ニューグランドホテル4階 (相生, 高砂)
△会費 3,000円 (会員外5,000円)
△定員 20名
△協賛 東芝メディカル株式会社

※予約制ですので、電話、又はハガキでお早めにご連絡下さい。



役立つ

第一回臨床新薬研究会

隔月にシリーズ開催

五月十八日午後七時二十分より、野々市町のレストラン・ブルトンで、第一回臨床新薬研究会が開かれました。ご案内しましたように、以前金沢市内の先生方を中心に、八

木先生のお世話で開かれていた臨床新薬研究会をそのまま引き継いだものです。これまでは製薬会社の学術担当者に二、三の新薬の作用機序・特徴・投与方法・副作用などに

としての可能性も考えられております。腎臓においては非特異的ながら、赤沈、フィブリノーゲン、LDH、CRP、レニンなどがあり、膀胱癌では尿細胞診、尿中FDP測定

最後に、現在当教室で行っておりますハマトポルフィリン誘導体(HpD)の腫瘍親和性と光化学反応を利用した膀胱癌の早期診断および治療法(photoradiation therapy PRT)について紹介いたしました。アルゴン色素レーザー装置を用いたこの方法は今後大いに期待できるものと思われま

ました。第一回目として、経口喘息治療剤の「ザジデン」について、金沢大学医学部小児科の平谷美智夫先生に、鎮痛抗炎症剤の「フェルデン」について、金沢大学医学部整形外科の宗広忠平先生に講演していただきました。以前、保険診療研究会で気管支喘息について説明していただいた平谷先生からは、前回と内容が余り重ならないように、喘息の治療剤を中心に話されました。「ザジデン」の効果と喘息治療における位置についても言及されました。宗広先生は、消炎鎮痛剤全般にわたる話をされました。まず、消炎鎮痛剤を分類され、その効果と副作用を中心に、有用性についても述べられました。投与量・投与方法(特に併用する胃腸薬との間隔や坐剤の有効性)についても細かく説明され、更に金沢大学医学部整形外科で行われている膝関節腔内の写真撮影についてのスライドが供覧されました。新薬の説明よりも、喘息治療全般・消炎鎮痛剤全般・大学で現在行われている新しい治療が中心に話されましたが、それなりに有意義な話が聞けたと思います。食事が遅れたり、時間が延長するなどの不手際があり恐縮しております。今後とも協会の皆様のご意見を聞き入れて、更に充実した臨床新薬研究会にしたいと考えています。第二回は七月に開く予定です。会員の皆様の多数のご参加をお待ちしています。

(西村邦雄 記)

第一回臨床新薬研究会の会場から

(五月十八日)

理事会だより

(6月3日)

〔協議事項〕

- 一、第九回定期総会の評価と反省点
協会会員三千名、来賓七名、一般三十八名など計八十名の参加があった。
二、執行体制の改善・強化について

〔公務報告〕

- 一、組織
・医科会員 三三九名
・歯科会員 九三名
二、共済
・五月の休業保障募集により二十七名・一〇〇〇の加入があり、累計では二四一名、一〇九五口となった。

三、学術
・医療従事者のための講習会が大盛況、小松・加賀両会場で三三二名が参加。参加者の八割以上がアンケートに記入し、看護婦としての心構え、言葉使い、電話の応対などへの反省や今後の講習会への要望が多数寄せられた。

- (1) 月間拡大目標(医科十名、歯科四名)を超過達成する意気込みで取り組む。
(2) 全役員からの紹介と事務局訪問により入会者を迎えていく。
(3) 六月のグループ保険普及と結合して協会事業の宣伝と紹介を強める。
(4) 県下五会場の従業員講習会の開催準備の中で、地区毎の個別対策をすすめる。
(5) グループ保険第三次募集今年は三年目を迎えて、制度の維持・発展には協会

四、機関紙・文化

- (1) 創刊号から百号までの歩みを新しい企画やトピックス、連載記事を取り上げて年表をつくる。
(2) 第五十一号から百号までの合本を五〇冊つくる。
(3) 「医心凡語」を掲載順に並べて小冊子として六〇〇部発行する。
(4) B六版 約九十ページ (七十七点)

# 新聞 日、明日

本戸 保険医新聞は六月十日号で百号を迎えます。今日は創刊号から百号まで編集に当たってこれからの抱負について話していただきたいと思っております。

高松 初代編集長を引き受けましたが、まったくのシロウトですから、まず大石、藤田両先生に編集部員をお願いし、次いで本戸、吉村、宮村、大倉先生にも入ってもらいました。創刊号から五〇号までの合本を見てみると現在の機関紙とは雲泥の差があります。ただ意欲だけは人一倍あります。

藤田 保険医新聞が創刊から百号を迎えることは感無量です。発刊五号くらいの時、京都で全国機関紙交流集会有り専門家から戒名見出しとか写真の向きとか厳しい批評がありました。ついで昨日のことのように思えます。

本戸 私は最初、保険部にいましたが、一度編集部に誘われ、予想以上におもしろい雰囲気があったため、それから「と」に参加するようになり、またたく手作りの機関紙の時代です。

宮村 高松先生から編集部員にとお誘いを受けた時、あ、

## 毎月必ず 編集会議を開いて

神田 今回、創刊号から目を通して分かったことは、30号までの間に「医心凡語」や「持論」など次々に新しい企画や連載記事が生まれており、文字通り機関紙の創成期であったと思います。しかも、この頃は月二回編集会議を開いており、非常に精力的でした。

本戸 われわれは医者であり、普段あまりものをつくる機会に恵まれていない。しかし編集会議では機関紙をつくり上げる喜びがあります。ただ当時の高松編集長は大変厳しく、誰かがアイデアを出すと、それはまずその人が担当する羽目になりました。(笑)

で今度は白黒をとおっしゃる。次の年もそうかなと思つていると、年頭の辞にあわせた写真に変えてほしいと神田さんに言われたりして。絵具で塗るようなわけにはいかなないですすね。写真は。

のあり方への疑問もあったのでしようね。

高松 自分のことは自分でという感じでした。

大石 医業経営の将来に対する危機感ですね。ただ私個人としては編集会議に参加して大変勉強になりました。私は文章を書くことが億劫であり、まず文章術を身に付けることから始めました。又みんなど討論することも不慣れであり、自分に説得力がないことがよく分かりました。みなさんの議論に負けないため(笑い)論理学や話し方の心得などの本を買って一生懸命勉強しました。

横井 私は大石先生と一緒に絵を習いに行っていましたが大石先生は時々編集会議をさぼって来ていました。(笑い)編集会議がしんどかった頃もあったのでしようね。

高松 私らは毎月必ず編集会議を開くことを鉄則にしておりました。また話し合うことにより自分達の考えがまとまりました。しかし毎月欠かさず編集会議を開いて発行するというのは確かにしんどいですね。

横井 あの時、大石先生から話し方の本を見せてもらいました。

大倉 私はリベラルなものを求めて協会の仕事をやっているので、個人の利益やエゴでやっているのではないことを、思想の退廃ですね。

## 真夜中の 医心凡語

本戸 新聞の顔として「コラム」の必要性を痛感し、編集部で取り上げるようにしたのが十九号からです。コラムの名称を任されて何日も考えましたが、ある日、真夜中にふっと思いついたのが、この「医心凡語」です。

高松 医心凡語とはなかなかいい言葉ですね。ズバリ本質

をついている。「持論」や「レポートかんふらんす」も確か本戸先生ですね。こうして百号まで続けることができているのも本戸編集長の熱意によるのが大です。

横井 保険医協会に対して「丹頂鶴」という人がいました。高松 医心凡語とはなかなかいい言葉ですね。ズバリ本質

高松 最初の座談会「保険医協会のめざすもの」が第七号に載っていますが、非常に印象深いものがあります。何しろ始めてであり、話があら

## 座談会出席者

編集部構成役員	大石	大倉	木戸	高松	竹田	藤田	宮村	横井	神田
事務局 長	石	倉	戸	松	田	田	村	井	田
	博	永	哲	弘	公	士	明	明	順
	司	央	也	明	彰	郎	子	子	一
								衛	

(敬称略 五〇音順)

ことを知ってほしいですね。患者のためによい医療をやるのが前提ですから。

大倉 私は文章を書くことが大の苦手でありますが、編集部以外科がないという理由で引っぱり込まれました。家内には又才のないものが何で、といまだに云われています。

竹田 私も本戸先生に云われて二年程前から編集部に入り、医心凡語の執筆や皮膚科の先生への原稿依頼をしています。普段から文章を書くことに親しんでいないため、いつも苦労しています。

大石 私は編集部に入ってから文章修業のため「和歌」を綱村基行先生から習いました。その中で日本語は現在形を使うと生き生きとした表現になることを知りました。

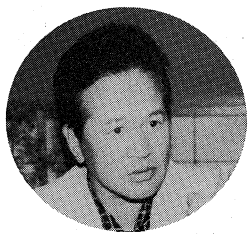
## 絵になる文章 を書きたい

ちに飛んだものを事務局でテープ起こしをしたが話の筋がよく分からない。正月返上で三日がかりで座談会記事にまとめました。

神田 大変好評な座談会であり、この新聞を送付しただけで一挙に十二名もの入会者がありました。

横井 私は昨年「舌つづみ」を七回連載しましたが、予想外の反響があり、びっくりしました。県庁職員や医科大の先生方にも読まれていることを知ってから、なかなか筆が

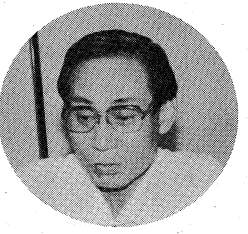
もう一つは絵になる文章を書くこと、読むとイメージが浮かび上がってくる文章がいい文章といわれました。



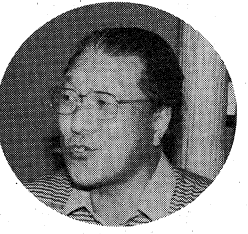
大石機関紙部長



大倉機関紙部員



木戸機関紙部員  
(前機関紙部長)



高松総務部長

100号記念・座談会

# 保険医 昨日、今

屋の中をうろろろしたことが何度もあります。特に「持論」を担当した時は大変です。

木戸 この主張欄の設置を私は早くから指摘していましたが、高松先生がなかなか承知してくれなかったが、第二十四号から掲載するようになりました。

高松 あの当時は協会自体が発展途上であり、理事会としてまとまった見解を打ち出すには至ってなかったし、主張を書くことの大変さが分かっていなかった。高松先生が「持論」が生まれるのも五月に金沢で中部ブロック会議が開かれ、その席上で愛知の先生より石川の新聞はなかなかよく出来ているが、肝心の主張がない、と指摘されたことです。

生は各科に必ずおいでますからぜひ編集に協力していただきたいですね。一度そういうユニークな先生に集まっていたいで座談会を開くとおもしろそうですね。

そユニークですよ。(笑い) //みんなのためにしてやろうという常識的な発想ではダメで、結果的にみんなのためになればよいという気持のほうが長続きすると思います。

## 紙上討論の 行司役に

## 求む

## アイティアマン

## アイティアマン

藤田 機関紙交流集会で良く云われるのですが、読まれる新聞にするには、「北から南から」とか、石川県ならテレビなんかによくある「加賀能登〇〇」というような中心部だけでなく隅から隅までの記事を書けることが大事だと云われます。また家族や従業員

の参加も非常に良いと思います。その点、文化部の活動は的を得た良い企画だと思います。

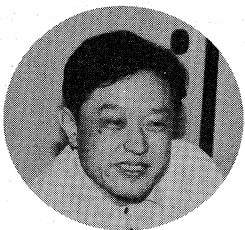
大倉 会員がみんなが悩んでいること、医療以外のことも含めて取り上げていけばより読まれる新聞になると思います。

木戸 確かに言葉は生きものです。文章も話し言葉や「です、ます」調がよく読まれるように思います。ただ「持論」などは「である」調のほうが格調高くみえますが、大石 最初の頃「開業医のゴルフ」を十八回連載しましたが、若い経験もあります。「練習せずにうまくなる法」と

サブ見出しを入れたため、自分が練習できなくなり、おかげでハンディが上がらなくなりました。(笑い) 大倉 原稿を受け持ってから二週間程は神経がまいてしま、事務局から催促される度に苦痛になります。高松 それはみんな同じですね。私も原稿用紙を持って部

横井 私は多くの会員に普段思っていることを気軽に投稿してほしいと思う。そういう意見を吸い上げるよう心掛けていきたい。

大石 その通りですね。機関紙は会員の生活のすべてを取り上げるようにしなければなりません。木戸 紙面の三分の一を提供してでも読者に共感を持ってもらえる記事を書き、合わせて読者に訴えたい記事を書きたい。



竹田 機関紙部員



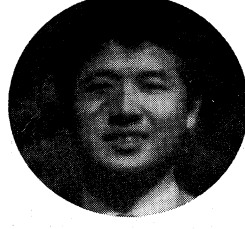
藤田 組織部長



宮村 文化部長



横井 機関紙部副部長



神田 事務局長

## 座談会の歩み

1. 保険医協会のめざすもの (第7号)
2. 開業医と勤務医の連携を (第11号)
3. 山の神々 大いに語る (第15号)
4. 保険診療と審査問題の現状 (第19号)
5. これからの労務管理 (第22号)
6. 自由診療から保険診療へ (第27号)
7. 医師として妻として母として (第31号)
8. 続・保険医協会のめざすもの (第35号)
9. プライマリ・ケアを語る (第39号)
10. 石川県の保険医療の現状 (第48号)
11. 石川県における大病院進出を考へる (第53号)
12. 保健所活動あれこれ (第57号)
13. 金沢 もう一面の日本 (第59号)
14. これからの保険医協会 (第63号)
15. 研究会100回の歩み (第73号)
16. 税務調査の心構え (第79号)
17. 石川の伝統文化と現代 (第81号)
18. 続・税務調査の心構え (第94号)

## 日本を作製します

### 申込みを受付中

当協会編集部では「石川保険医新聞」(第五十二号から百号まで)の合本を作製します。昭和五十四年八月から約四年間の協会活動の歩みが掲載されておりますので希望者はお早目にお申し込み下さい。

一部 四、〇〇〇円(送料・協会負担)



# 「健康のしおり」を ご利用下さい

当協会では患者さんの健康づくりのため「健康のしおり」をシリーズで発行しています。



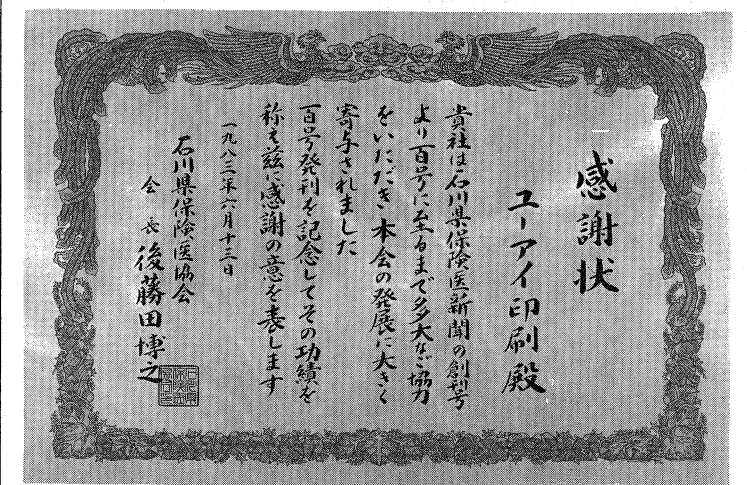
会員には毎回五〇部送付していますが、追加希望がありましたらご一報ください。(五〇部単位二〇〇円) また患者さんからの反映や利用状況をお知らせ願えば幸いです。

## 酒飲みの心意気

羽咋市 武原 秀明

金沢の酒屋では立ち飲みくらしいかできないところがほとんどですが、徳島の方ではカウンターや椅子(リングコ箱)のある酒屋がかなりありました。おでんや冷奴なども置いてあり、近くのスーパーで刺身を買ってきている人もいました。ただ、酒屋へよく出入りしている人は一般の人々からはアル中のように思われていたようです。私は昨年八月からタバコをやめました。酒だけはどうしてもやめられません。

早いもので開業してから、もう二カ月が過ぎました。最近になって、やっと開業医の仕事に慣れてきたというところ。何か趣味について書いて下さいと言われたのですが、たいした趣味もありません。学生時代の酒の思い出を少し書いて見たいと思います。



保険医新聞100発刊を記念し、本紙を印刷しているユーアイ印刷に対し、協会理事会より感謝状並びに記念品を贈りました。

## 本紙百号発刊を ふり返って (上)

木戸 哲也

百号という一つの節目に  
来まして感じますことは、  
生まれて始めて白山に登山  
した昔を思い出します。頂  
上に立ったその時の喜びと  
同時に、次は何処の山へ登  
ろうかと、ふと思つたもの  
です。

内容的に百号を振り返っ  
て見ますと、その時その時  
の医療問題の軌跡を画いて  
いると思えますが、現在と  
さほど異った主張や記事と  
は思いません。「保険診療  
の知恵」は創刊号から今も  
好評です。「医療事故問題」  
も初期の頃、盛んに取り上  
げました。又、この頃、医  
業税制の改悪、28%廃止問

半ばあきらめとしらけのム  
ードに落ち入り暗い気分が  
支配しました。  
編集部としても、もう少  
し紙面を明るく、会員の息  
抜き場として表現する必  
要を感じたのです。そこで  
趣味のコーナーを増し、例  
えば「開業医のゴルフ」と  
か「赤ちやうちん」の如き  
気楽に読める新聞作りを紙  
面を変化させ、また、十

ました。コラム名を次号ま  
でに考えるよう指名された  
私は、それから一週間、色  
々な雑誌や広辞苑などをあ  
さり、当初「医心伝心」なる  
言葉が浮び、一時はこれに  
決めようと思いましたが、  
医の心にあたる心あるはこれ  
をよしとせず、再度苦しむ  
日々が続きました。しよせ  
ん凡人には、コラムなど無  
理かと思っているうち、ふ  
と凡語なる下の句が浮かん  
だのです。「医心凡語」こ  
れだと思わず一人ほくそ笑  
んだものです。

### 医心凡語を 小冊子に

編集部では本紙百号発刊の  
特別企画として、第十九号よ  
り編集員が交代で執筆してき  
たコラム「医心凡語」七十七  
点を収載した小冊子を作りま  
す。ご期待ください。

## 税務に関する電話相談

毎月第2、第4土曜日

〈受付時間〉午後1時半～3時  
☆相談の際は要点を整理してお電話下さい。  
☆連絡先はおのおの税理士さんの事務所です。

相談日	担当税理士	連絡先の電話番号
7月9日(土)	湯村広行 先生	0762(43) 5188
7月23日(土)	北川干城 先生	0762(49) 2788
8月13日(土)	宮崎文夫 先生	0762(38) 5957
8月27日(土)	前多重男 先生	0762(44) 1484

「豪雪・多病・貧困」の村が日本一の健康村になった。  
そこには25年間の村全体の奮闘のドラマがある――。



●主な内容と執筆者――  
序章 豪雪・多病・貧困の闘い 太田恒雄  
第一章 生命を守る村 自衛隊 増田進  
第二章 生命を守る村 自衛隊 田中トシ  
第三章 生命を守る村 自衛隊 田中トシ  
第四章 生命を守る村 自衛隊 田中トシ  
第五章 生命を守る村 自衛隊 田中トシ  
第六章 生命を守る村 自衛隊 田中トシ  
第七章 生命を守る村 自衛隊 田中トシ  
第八章 生命を守る村 自衛隊 田中トシ  
第九章 生命を守る村 自衛隊 田中トシ  
第十章 生命を守る村 自衛隊 田中トシ

住民の生命を守る村  
四六判・二七〇頁(写真クラブA50頁分)  
上製本 定価一六〇〇円(送料二五〇円)  
「たとえどんなことがあろうと人間の生命を守ること  
に徹する」(太田村長)村。その「生命行政」の思想と奮  
闘のドラマを沢内村の当事者自身が全国民に訴える。  
老人いじめ・福祉後退の国の政治が進む今、政治とは  
自治体のすべきことは、そこに住む人々の幸福とは何か  
を、本書は読者に問いかける。  
沢内村は今後も60歳以上老人医療費無料を断固続ける。

発行 あけび書房 発売元 あいわ出版 ■お申し込みは当協会まで  
TEL (0762) 22-5373

加入者増えれば配当金もさらに高く 有利な団体定期保険

最高保障額 4,000万円 (配偶者 1,000万円)

グループ保険へ

ぜひご加入を

低額保険料、会員だけの特典

6月8日より 募集開始 6月30日締切

制度の特色

- 安い掛金で高額の保障
保険期間は一年で毎年更新
一年毎の収支計算で、剰余金が生じた場合は配当金として還付
現在健康で正常に就業していれば、診査なしで加入
税務上の特典があります

先生が万一の場合、家族の保障は考えておられますでしょうか。後に残された遺族の生活費、教育費、借入金金の返済、多額の相続税と大変です。このような不安を少しでも解消するために、ぜひご加入下さい。

概算月額掛金と保障額

(注) 年齢計算は基準日を昭和58年8月1日として、6ヵ月超は1才加算となります。

Table with columns for Insurance Amount (1,000 to 4,000), Age (35 to 66-70), and Monthly Premium.

グループ保険特集号

訂正とおわび

一、二〜三面の大きな見出しの中で「七〇才まで(継続加入は七十五才まで)」の先生・奥さまが無診査で加入できます。」とありますが、保険料率表にあるように石川県では「加入資格は六十才まで(継続加入は七〇才まで)」の先生・奥様であります。

半数以上の会員が加入 休業保障制度

- 本年五月に実施していただきました第八次休業保障募集では、三十七名・一〇〇口の加入がありました。累計では二四一名・一、〇九五口となり、協会会員の加入率は五五・八%であり、半数以上が休業保障を利用することになりました。今回ご加入の先生には次の事項をご了承下さいませようお願い致します。
(1) 七月中旬に加入確認の意味も含めて「加入の御礼状」を送付致しますのでご確認下さい。
(2) 第一回の保険料は七月二十六日に引落しさせていただきます。
(3) 加入者証は九月中旬に募集担当者が直接お届けします。

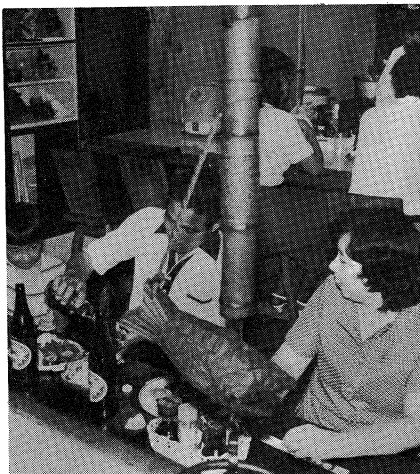
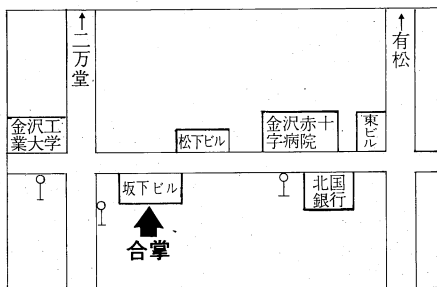
金沢には高級料亭や近代的なレストランなど数多くの外食企業があるなか、特にステーキ企業があるなか、特にステーキ

舌つづみ



金沢には高級料亭や近代的なレストランなど数多くの外食企業があるなか、特にステーキ企業があるなか、特にステーキ

「ステーキの焼きたて」が和洋中と食べなれているわれわれの舌に実にうまくとけ込み、肉のうま味を心ゆくまでたんのうさせてくれる。新鮮なサラダ、又、特に風味のある特製スープなど、実に全てが非常に満足させてくれる店である。和洋折衷メニューを取り入れた日本の食文化の店といつてよいのではないだろうか。(大倉永央 記)



いろいろを囲んでのステーキは抜群

金沢市三馬町二丁目三四 坂下ビル二階 電話〇七六二一(47)〇六六七番

第7回家族・従業員リクリエーション

宝塚歌劇と神戸散策

- 10月9日(日) 金沢駅前午前8時出発——大津——宝塚ファミリーランド(昼食) 宝塚歌劇——六甲山——神戸PA(宿泊=神戸ポートピアホテル)
10日(祝) 湊川神社——白い異人館・風見鶏の館・うろこの館——ポートタワー——刀根PA——金沢到着午後8時

参加費 大人 30,000円 小学生 24,000円 定員 45名(先着順です。お早目にお申込み下さい。)

ご家族・従業員そろって楽しめるバスツアーを企画しました。病医院のリクリエーションとしてぜひご検討下さい。

お問合せ・お申込みは 石川県保険医協会文化部 ☎(0762) 22-5373





# 祝 石川県保険医協会第9回定期総会

第9回定期総会に際し、次の各社よりお祝いをいただきました。御礼申し上げます。

石川県保険医協会

明希株式会社

金沢市問屋町二丁目一〇  
電話(〇七六二)三七四一四一番

(株)スズケン

金沢 金沢市問屋町二一五〇  
支店 電話(〇七六二)三七七七一七番

エーザイ(株)

金沢 金沢市尾山町三一八  
営業所 電話(〇七六二)二一六一五二番

日本チバガイギー(株)

金沢 金沢市小金町八一六  
出張所 電話(〇七六二)五一〇五五六番

(株)中栄草栄堂

金沢市神宮寺三丁目一丁三〇  
電話(〇七六二)五二八八一七番

日研化学(株)

金沢市尾張町一丁目一〇一五  
電話(〇七六二)六四二二〇八番

三共株式会社

金沢 金沢市尾山町六一三〇  
出張所 電話(〇七六二)六三二二二二番

東京田辺製薬(株)

金沢 金沢市小金町八一六  
出張所 電話(〇七六二)五一二二六七番

誠和薬品(株)

金沢 金沢市西泉二丁目一八〇  
営業所 電話(〇七六二)四一六一八五番

東洋ファルマー(株)

金沢 金沢市西念町ロー一三〇  
営業所 電話(〇七六二)六五一六七七〇番

武田薬品工業(株)

金沢 金沢市此花町六一一〇  
出張所 電話(〇七六二)六二七三三二番

中外製薬(株)

金沢 金沢市野町一丁目二一四三  
出張所 電話(〇七六二)四一七三〇一三番

北邦医薬(株)

金沢市長町三丁目一〇一四  
電話(〇七六二)三一三二四五番

(株)日医工石川

金沢市泉野出町一丁目十八二〇  
電話(〇七六二)四三二二四四番

杏林薬品(株)

金沢 金沢市小金町九一二七  
営業所 電話(〇七六二)五二七二六二番

協栄薬品(株)

金沢 金沢市百坂口九四一  
営業所 電話(〇七六二)五八二七三三番

(株)井上誠昌堂

金沢市西泉一丁目四番地  
電話(〇七六二)四二一三三二番

北陸薬剤工業(株)

金沢市堀川町一五一一  
電話(〇七六二)二一五二二八番

ブリストル・マイヤーズ(株)

金沢 金沢市高岡町一〇一三  
営業所 電話(〇七六二)三三二七五二番

太陽厚生科学研究所

金沢市福増町丑八三九  
電話(〇七六二)四九一九一九番

# 祝 石川県保険医協会第9回定期総会

第9回定期総会に際し、次の各社よりお祝いをいただきました。御礼申し上げます。  
石川県保険医協会

丸文金沢(株)

金沢市泉野町一丁目一九一-一六  
電話(〇七六二)四三二四三六六番

株式会社越屋

金沢市石引四丁目四一-一〇  
電話(〇七六二)二三一七二七二番

ホリデイ・イン金沢

金沢市堀川町一-一〇  
電話(〇七六二)二三一-二二二番

富木医療器(株)

金沢市問屋町二-四六  
電話(〇七六二)三七一五五五番

(株)日立メデイコ

出張所 金沢 金沢市此花町六一-一〇  
電話(〇七六二)六二-三三九一-九一

北陸シーサイド観光(株)

金沢市武蔵町三一-三  
電話(〇七六二)三一-三三三二番

保険医グループ保険 取扱会社(幹事) 好評募集中

## 太陽生命保険相互会社

金沢市尾張町2丁目8-23  
電話(0762)22-0736番

株式会社半田

金沢市香林坊一丁目二-三  
電話(〇七六二)二二-一五一一番

井下医科機器(株)

金沢市増泉五丁目八一-一五  
電話(〇七六二)四二-四二二三番

**通** 日通航空 日本通運(株) 金沢旅行営業所

金沢市此花町六一-一〇  
電話(〇七六二)二一-三二八四番

富国生命保険相互会社

支社 金沢市下堤町三〇  
電話(〇七六二)六三-八八五一番

フクダ電子北陸販売(株)

金沢市二口町ホの二二  
電話(〇七六二)二三-一五四一-番

小西六メデイカル(株)

出張所 金沢 金沢市新神田二丁目一-一〇  
電話(〇七六二)九一-五二四六番

三谷石油サービス(株)

金沢市昭和町一五-二二  
電話(〇七六二)六三-一六一七番

第百生命保険相互会社

支社 金沢市玉川町一-二四  
電話(〇七六二)六二-三三九六番

日本光電北陸(株)

金沢市玉川町一四-一八  
電話(〇七六二)二三-一八一八番

北陸医学臨床検査センター

金沢市近岡町三〇-九  
電話(〇七六二)三七-四二二〇番

石川米油(株)

金沢市神谷内町二の六一  
電話(〇七六二)五二-四三二二番

ユーアイ印刷

金沢市御影町二八一-八  
電話(〇七六二)四二-八三七九番